

教科横断型授業「芸術」×「地歴公民」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(4番)「質の高い教育をみんなに」				
実社会での課題	「鑑賞」という言葉の持つ受け身的な響きのためか、「鑑賞」は音楽を最初から最後まで聞いて好き嫌いやそこから得たイメージを感想として述べるのが「鑑賞」だと考えている生徒が多く、音楽作品の持つ多面性やメッセージ性に気付かせるよう、取り組んでいくかが課題である。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	ベートーヴェンが生きた時代の文化的・歴史的背景の理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして作品に対する理解を深め、鑑賞の能力を深化させる。				
主題(教材)	ベートーヴェンについて深く学ぼう				
指導過程	導入	学習活動	時間(分)	指導上の留意事項	資料等
	展開	本時の目標を確認する。	2	○ 本時の目標を確認させる。	○ パソコン ○ プロジェクター
		1 ベートーヴェンについて知っていることを共有する。	5	○ ベートーヴェンについて知っていることをロイロノートに入力させ、提出し、全員で共有する。	○ 生徒用端末 ○ ロイロノート ○ ワークシート(配信)
		2 ベートーヴェンについて学ぶ。 (1) ベートーヴェンが生きてきた時代背景について	15	○ ベートーヴェンが生きていた文化的・歴史的背景について理解させる。	
		(2) 交響曲第9番「合唱付き」について	15	○ 交響曲第9番に込められた思いや生き方を理解させる。	
開	3 なぜ、ベートーヴェンの作品が国や人種を超えて世界中の人々愛されているか考える。	10	○ ベートーヴェンが曲に込めた思いを汲み取らせ、曲想との関わりに関心を持たせる。		
整理	まとめ	3	○ 本時での学びを踏まえ、次時の学習につながる振り返りをさせる。	○ 生徒用端末 ○ ロイロノート ○ ワークシート	
備考					